

事業完了（廃止等）報告書

調査研究期間等

調査研究期間	令和元年5月22日 ～ 令和2年3月13日
調査研究事項	<p>《委託研究Ⅲ》</p> <p>エ. その他夜間中学における教育機会の提供充実に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 経済的負担を考慮した効果的な学校行事や校外活動の在り方について
調査研究のねらい	<p>本市の夜間学級には多くの外国籍の生徒や高齢の生徒が在籍しており、近畿夜間中学校連絡協議会による交流行事等に年3回参加している。近畿圏の夜間学級で、ともに学んでいる他校の生徒との交流の機会として、多くの生徒の参加を促したい。</p> <p>しかし、現状としては参加数が40名程度であり、その要因として以下のことが考えられる。</p> <p>＜外国籍の生徒＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 交通費が負担 ・ 土地勘がないため個人で学校外の場所に集合することが困難であり、不安がある <p>＜高齢の生徒＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 交通費が負担 ・ 電車での移動は体力的に負担が大きい <p>このようなことを踏まえ、本年度の校外活動への参加率を向上させることをねらいとして、各行事の参加に貸切バスを利用し、移動に対する経済的な負担、体力的な負担の軽減を図るとともに、安心して参加できる環境を整える。</p> <p>また、文化祭や連合作品展などの行事で、生徒会が中心となり企画運営を行い、共同作品の作成やレクレーション等の活動を効果的に行う。それにより、普段は関わりの少ない生徒どうしが接したり、楽しさを感じたりすることで、夜間学級での学習に対するモチベーションの向上につなげることも目的とし、アンケートや感想文等により、現生徒への効果検証を行う。並びに、前年度の参加数などと比較し、生徒の参加人数の変化などの効果検証を行う。</p>
調査研究の成果	<p>＜学校行事や校外学習への参加率向上に向けた取組＞</p> <p>[10月]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 近畿夜間中学校連合運動会において、参加率が平成30年度は10.6%、令和元年度は11.5%であった。運動会では年齢や国籍の壁を越えて、生徒同士が声をかけ合ったり、支えあう姿が見られ、生徒の良好な人間関係が構築された。

[2月]

・近畿夜間中学校連合作品展において、参加率が平成30年度は8.9%、令和元年度は10.0%であった。前年度比で1.1%増加した。作品展には個人作品及び共同作品を制作し、出展した。個人作品は「書初め」や「手芸」そしてパソコンを使って「詩」等を作成した。共同作品は「殿馬場中学校夜間学級でのセレモニーで使用する演台」を作成した。生徒同士で協力して作成することにより、生徒の協調性を養うことができた。

・各行事において、集合場所を学校として、貸切バスで移動することを生徒に周知し、行事への参加を促した結果、連合運動会や近畿夜間中学校連合作品展の参加率が増加した。また、車椅子や手押し車の生徒の参加への後押しにもなった。

<成果研究の課題>

・貸切バスを用いることによって、近畿夜間中学校連合運動会や近畿夜間中学校連合作品展の参加率の増加に効果が見られた。一方で、平日の授業での遅刻・欠席が増える生徒が出てくるのが課題である。学校行事と授業を上手に関連させた取組等が必要である。